

平成 26 年度西予市社会福祉協議会 事業報告（概要）

I 事業基本方針に関する総括

少子・高齢社会の一層の進展や人口減少並びに核家族化等に伴い、ひとり暮らし高齢者や高齢夫婦のみの世帯が増加し、家族内の見守りや介護機能の低下、地域連帯感の希薄化によるコミュニティの脆弱化が叫ばれる中で、地域においては生活困窮、虐待、ひきこもり、孤独死や自殺、災害時支援、消費者被害等、地域からの孤立を起因とする様々な生活課題が深刻化している。

このような中で、社会福祉協議会は地域福祉を推進する中核団体として、地域に密着した事業に取り組むとともに、生活・福祉課題に気づき、その解決に向けて提案・実践していくことが求められている。

そうしたことから、当協議会では、縮小傾向にある公的財源に対応すべく経営基盤の強化及び公益的な役割と使命を果たしながら、住民の皆さんが、「いつまでも元気で幸せに暮らしたい」という思いを叶えるべく、行政をはじめ市民活動団体やボランティアとの連携・協働によって重点項目に沿った事業を有効に展開した。

II 重点項目

- i 市社協運営体制の整備と基盤強化
- ii 地域福祉推進力の強化
- iii 福祉利用者支援の強化
- iv 福祉人材の強化
- V 地域包括支援の強化

III 事業の実施状況

【1】法人運営の基盤となる市社協運営体制の整備と基盤強化

1 市社協運営体制の整備

新会計基準への円滑な移行を推進した。また、会計システム導入に際しては、選定委員会を設置し、プロポーザル方式にて導入を図った。

2 理事会

6 回開催

3 評議員会

5 回開催

4 監査会

1 回開催

5 監事による現地調査

宇和支所にて実施

6 まごころ銀行運営委員会の開催

2 回実施

- 7 全戸会員制会費の推進
- 8 社協活動の広報
社協広報誌等の発行
- 9 各種関係機関・団体及び本所・各支所間との連携強化
支所長会・経営会議等開催回数：延べ12回
- 10 福祉サービス利用援助事業の実施

【2】各種募金等運動への協力・推進

- 1 日本赤十字社社員増強運動に伴う社資募集の協力依頼
- 2 共同募金運動の推進
- 3 歳末たすけあい運動の推進
- 4 まごころ銀行

【3】災害ボランティアセンター中核スタッフ養成研修への参加

【4】「地域福祉事業の推進」、「ボランティア活動の推進」、「総合福祉相談・援助事業の推進」及び「在宅福祉サービスの推進」、「安心カードみまもり支援事業の推進」等

公益事業 【西予市地域包括支援センター】

I 事業実施状況

- 1 包括的支援事業の推進
 - (1) 介護予防ケアマネジメント事業
 - (2) 総合相談支援事業
 - (3) 権利擁護事業
 - (4) 包括的・継続的ケアマネジメント支援事業
- 2 介護予防支援事業の推進

収益事業 【介護用品販売事業】

I 事業実施状況

紙オムツの販売：26年度実績・・・年間利用者数（延べ）	26名
販売回数	130回